

人口ビジョン目標

平戸市総人口
約20,000人 (2060年)

国立社会保障人口問題研究所の推計人口(9,652人)より、約10,300人の人口増を目指す。

第1期平戸市総合戦略の評価検証、平戸市未来創造羅針盤(第2次平戸市総合計画)に掲げた施策、総合戦略推進委員会での意見等を踏まえ、人口減少抑制に努め、持続可能な地域社会の形成を目指すため、以下の4つの基本目標を設定して施策を展開します。

基本目標1 雇用の促進
～しごとをふやすプロジェクト～

基本目標2 産業の振興
～しごとをのばすプロジェクト～

基本目標3 子育て支援
～ひとをそだてるプロジェクト～

基本目標4 定住・移住の促進
～まちをつくるプロジェクト～

第2期平戸市総合戦略 (令和2～6年度 5年間)

基本目標 (◆数値目標)

◆新規 ◇継続

雇用の促進 ～しごとをふやすプロジェクト～

本市の特色を活かした新たな産業による雇用の促進

◆市内製造業の従業員数

産業の振興 ～しごとをのばすプロジェクト～

地域資源を活用した魅力的な産業の振興

◆主要農林畜産物販売額

◆各漁協による販売事業総取扱高

◆観光消費額

子育て支援 ～ひとをそだてるプロジェクト～

子どもを産み、育てやすい環境の更なる充実

◇合計特殊出生率

◇20歳から49歳までの社会増減数

◆学校教育活動に対する評価

定住・移住の促進 ～まちをつくるプロジェクト～

まちの活気を取り戻すための若者定住・移住促進対策

◇社会増減数

◇市外からの移住世帯数

重要業績評価指標 (■KPI)

■新規 □継続

■市内高校卒業者の市内就職率

■中小企業への補助事業支援件数

□年間創業者数

□新規就農者数

□沿岸漁業における新規就業者数

□年間外国人宿泊客数

□6次産業化における支援者数

□新規平戸産品取扱店舗数(都市圏)

■市内高校への進学率

■未来技術に係る研修参加者数

■平戸市で子育てをしたいと思う親の割合

□子どもを育てるための環境の良さに対する満足度

■授業にICTを活用して指導する先生の割合

■英語による簡単なコミュニケーション活動ができる小学5、6年生の割合

■英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合

□空き家バンク登録数

□移住相談件数

■まちづくり運営協議会数

□これからも平戸市に住み続けたいと思う人の割合

主な施策

●新規 ○継続

ア) 就労機会の拡大

○若者やUIターン者等の就労支援 ○企業誘致による雇用創出

イ) 就労環境の整備

○働きやすい環境づくりの推進 ○男女共同参画推進

ウ) 新たなビジネスの創造

○新商品開発の支援 ●地域課題解決による産業創出

ア) 農林業の振興

○新規就農者の確保育成 ○生産者の経営安定と所得向上対策

イ) 水産業の振興

○漁業担い手の確保及び定着促進 ○流通・販売体制の改善強化

ウ) 観光の振興

●平戸版DMOへの支援 ○外国人観光客の受入整備

工) 地域ブランドの推進

○平戸産品の取引拡大 ○新たなビジネスチャンスの場の創出

オ) 持続可能な地域経済の確立

●産業人材の確保 ●事業承継への支援 ●未来技術導入の推進

ア) 妊娠・出産・育児への切れ目ない支援

○多様化する保育ニーズへの対応 ○相談支援体制の充実

○子ども・子育て支援のトータルコーディネート

イ) 教育環境の整備

○ICT・英語教育による学校教育の充実 ○地域と連携した体験

活動の充実 ○教育や就学の悩み解消のための相談支援体制の整備推進

ア) 移住の受入推進

○移住受入体制の整備 ○住宅の確保がしやすい仕組みづくり

○移住に関するワンストップ窓口の充実

イ) 魅力あるまちづくり

○協働による持続可能な集落形成 ○地域包括ケアシステム構築

●シティプロモーションの推進 ●郷土愛醸成による定住・移住の促進